

介護保険事業計画に記載した「自立支援・介護予防又は重度化防止に関する取組と目標」  
(令和3年度)について公表いたします

**1 健康・生きがいがづくりの推進と生活支援サービスの充実**

【目標を設定するに至った現状と課題】

高齢者の方の介護予防の取組のひとつとして、各種体操の指導者を増やすことで、高齢者が体操を親しむ機会が増え、ひとりひとりに適した体操の指導が行われるようになっていく。しかし、育成の場が減り、指導者が減少し、高齢者が体操に接する場の確保も困難な状態である。

【設定した主な取組及び目標・実績】

【取組】

- ・シルバーリハビリ体操指導士3級養成事業の実施。
- ・スクエアステップリーダーの会の実施

【目標】

- ・各種体操の指導者数 R3年度 224名

【実績】

- ・各種体操の指導者数 R3年度 179名

【取組により得られた効果(アウトカム)または今後期待される効果】

【アウトカム】今後、高齢者の参加する会場にて、その場に適した体操をプログラムに盛り込むことで、介護予防の効果が期待される。

【自己評価及び今後の方針】※5段階で評価(S・A・B・C・D)

自己評価【A】

評価理由:指導者数が目標の80%のため、A評価とした。

今後の方針:継続実施するとともに、高齢者の参加を促し満足度を高め、指導士の増加をすすめていきたい。

**2 安全・安心なまちづくりの推進**

【目標を設定するに至った現状と課題】

高齢者数の増加とともに、認知症等による徘徊や行方不明の発生件数が増加傾向にある。人と地域がつながり、助け合いながら住み慣れた地域で暮らすことができるよう、住民や地域の事業所等と連携した見守り活動の推進が必要である。

【設定した主な取組及び目標・実績】

【取組】見守り協定の締結

【目標】R3:目標 協定締結件数 5件

【実績】R4.3末 39件

【取組により得られた効果(アウトカム)または今後期待される効果】

【今後期待される効果】事業者等との見守り協定締結を進めることにより、行方不明者等の早期発見に寄与するとともに行政と地域が連携した見守り体制の更なる充実を図ることができる。

【自己評価及び今後の方針】※5段階で評価(S・A・B・C・D)

自己評価【S】

評価理由:R3の目標を大幅に上回ったため、評価をSとした。

今後の方針:新たな協定の締結と啓発活動を推進する。

### 3 高齢者の能力活用と就労支援

#### 【目標を設定するに至った現状と課題】

地域の日常生活に密着した就業機会を提供することなどにより、高齢者の社会参加を促進し、高齢者ひとりひとりの生きがいの充実、健康の保持増進、長期的目標として、地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減などに貢献していきたい。しかし、就業内容の需要と供給とのバランスや、技術の向上への課題など安定的事業運営の必要がある。

#### 【設定した主な取組及び目標・実績】

【取組】シルバー人材センターへの入会の促進のため、広報や活動内容の周知、啓発活動を行い、会員数の増加を図る。

【目標項目】	目標数値	実績値	達成率(%)
シルバー人材センターの会員数	485人	479人	98.8

#### 【取組により得られた効果(アウトカム)または今後期待される効果】

健康の保持増進、長期的目標として、地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減などが期待される。

#### 【自己評価及び今後の方針】※5段階で評価(S・A・B・C・D)

##### 自己評価【A】

評価理由:会員数が目標の99%のため、A評価とした。

今後の方針:継続実施するとともに、高齢者の参加を促し、満足度を高め、会員数の増加をすすめていきたい。